

# 見次町会

見次町会は昭和31年（1956年）設立で現在会員数104名、世帯数221件の小さな町会です。その名称は町会の東側に隣接する見次公園に因んでいます。南側には大雨などでよく氾濫した出井川という河川が流れていましたが首都高速5号線の建設とともに暗渠となり公園化されています。発会当初は住民の生活環境改善に努め、秋祭りでの子供神輿の練歩きや会員の親睦旅行なども行ってきました。昨今は少子化や会員の高齢化などの影響から資源回収・リサイクル推進や防犯パトロール・防犯カメラ設置など住民の安心安全のための活動に力を入れて取り組んでおり、前野地区の防災訓練や運動会行事にも積極的に参加しています。見次町会は“小さな町会”のメリットを活かして会員相互の“顔が見える”優しい温かな町会活動を続けています。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



見次公園から町会方面を望む



発会当時の出井川風景